

しまきよう

やまがた市

だより
令和8年
1月号

Vol.
187

しゃきよう

社協は**社会福祉協議会**の略称です。みなさん「しゃきよう」と呼んでください。
社協はだれもが安心して暮らせるまちづくりをすすめています。



認定こども園つくも保育園園児と 山形舞妓のみなさん

もくじ

- 新年のごあいさつ、
社会福祉協議会について……………②③
- 生活支援コーディネーター通信……………④⑤
- 成年後見制度について……………⑥
- ボランティアセンター伝言板、寄附者紹介…⑦
- 暮らしの声、プレゼントクイズ、
ちがうところはどこ? ……………⑧

山形市社協 LINE公式アカウント

友だち募集中
@280wvvda



うれしい情報を
LINEでお届け!



誰もが安心して暮らせる福祉のまち やまがた
社会福祉法人
山形市社会福祉協議会

〒990-0832
山形市城西町二丁目2番22号
TEL 023-645-9230 FAX 023-645-8015

新年の「ふれあい」



社会福祉法人
山形市社会福祉協議会
会長 今野 厚志

新年あけましておめでとございます。
皆様におかれましては、健やかに新春
をお迎えのことと心からお慶び申し上げ
ます。

旧年中は、本協議会の活動に対しまし
て、深いご理解と温かいご支援、ご協力
を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も役職員一同引き続き、地域の
皆様一人ひとりが役割を持ち、つながり、
支えあいながら自分らしく活躍できる
まちを目指し、地区社会福祉協議会の皆
様など、多くの地域の方々とともに取り
組んでまい
りますので、
一層のご理
解とご協力
をお願い申
し上げます。



山形市社協を紹介します!

社会福祉協議会(社協)は…

地域福祉の推進を図るこ
とを目的とした非営利の民
間組織で、すべての都道府
県、市町村に設置されてい
ます。

高齢者や障がい者、児童
など、住民参加による「ふ
れあいやまがた福祉文化の
まちづくり」を基本理念に、
地域福祉活動を推進してい
ます。

基本理念

ふれあい
やまがた
福祉文化の
まちづくり

※福祉文化とは

↓助けあい、

支えあう福祉の心が
人々の生活に溶け込み、
根付き、それがひとつの
文化として受け継がれて
いってほしいという願いが
込められた言葉です。

法人運営

◆総合福祉センターの運営

地域福祉の活動の拠点として、
福祉の情報発信や研修をすすめ
ます。

◆社協正会員、賛助会員の拡大

住民参加のまちづくりを進め
るため、ご支援の程よろしくお
願いいたします。

会費

個人 三,〇〇〇円以上
団体 一〇,〇〇〇円以上
法人 一〇,〇〇〇円以上

◆赤い羽根共同募金運動の推進

住民一人ひとりが参加する
運動を地区社会福祉協議会と
協力して展開します。

◆歳末たすけあい運動の推進

◆戦没者追悼式の開催

市民総合社会福祉大会の開催
など



TEL 023-645-9230(代)

FAX 023-645-8015

住 所 山形市城西町二丁目2番22号 山形市総合福祉センター内

福祉のまちづくり係

◆地域福祉活動計画の推進

地域福祉の推進を目的として社会福祉協議会が中心となって策定する民間の活動・行動計画です。住民が主体となって取り組むための計画として、重要なものです。

◆我が事・丸ごとの地域づくり推進

地域住民による地域課題の解決力強化、体制づくりを進めます。

◆地区社会福祉協議会との連携

市内30の地区社会福祉協議会と一体となって地域福祉の推進に取り組んでいます。

◆福祉協力員活動の促進

平成5年から「福祉協力員制度」を導入し、市内約1400名の方が地域の見守りや支えあい活動を行っています。

◆住民の居場所、つながりづくりの開催支援

◆地域福祉活動の充実強化

多様な機関と協働し、必要な支援を受けられる体制を整備するために第2層生活支援コーディネーターを配置しています。

◆子どもの居場所づくり支援センター

子育てしやすい地域づくりの支援
子育てサロン、子ども食堂等の開催支援、研修会や連絡会の開催

など、ネットワークづくりを行っています。

◆子ども見守り宅食支援

山形市で実施しているLINE相談「おやこよりそいチャットやまがた」を利用して世帯の中から、支援が必要な世帯に対し、ちよっとした食品や子育て情報を届けながら相談対応を行っています。

◆ボランティアセンター

ボランティアに関する相談窓口及び、講座の開催による普及啓発等、ボランティア活動を推進します。

【活動例】

- ボランティア活動の広報
- 福祉出前講座の実施
- 福祉学習の推進
- 災害ボランティアセンター設置運営・研修など

◆認定子ども園つくも保育園

地域に根差すこども園をめざし、生後6か月からの一時保育も実施しています。子育て支援センターを併設し、マタニティ期からの不安や悩みに寄り添い、子育て家庭を支援しています。

地域包括ケア推進係

◆山形市基幹型地域包括支援センター

市内14か所の各地域包括支援センターの全体調整や後方支援を行います。

◆第1層生活支援コーディネーターの配置

高齢者の生活支援、介護予防サービスの提供体制を整備するための各種調整を行います。

◆地域包括支援センター

高齢者を支える総合相談窓口です。専門知識を持った職員が、高齢者が住み慣れた地域で生活できるように支援します。（霞城北部・霞城西部・金井の3ヶ所）

◆障がい者相談支援センター

障がいのある方やその家族からの相談を受けて福祉サービスを受けるための手続きを行ったり、様々な福祉サービスの情報提供等を行ないます。

◆多機関協働支援センター

個別の支援制度では解決できないような複雑化・複合化した問題に対して、各関係機関と横断的・包括的な支援体制を図りながら、支援が届いていない人に支援を届けたり、社

会とのつながりづくりに向けた支援等を行います。

◆生活サポート相談窓口

失業や離職、病気など様々な理由により経済的に暮らしの不安や困り事を感じている方の相談を受け、各関係機関と連携しながら支援していく窓口です。

◆在宅サービス

◆訪問介護事業所、居宅介護事業所

◆身体介護、生活援助等のサービス

◆訪問入浴介護事業所

◆在宅での入浴サービス

◆居宅介護支援事業所

介護保険や介護全般に関する相談や調整

◆グループホーム鈴川

家庭的な雰囲気の高齢者のグループホーム

◆老人福祉センター

鈴川ことぶき荘、漆山やすらぎ荘の運営

より詳しく社協の事業内容について知りたい方は、こちらの二次元コードからご覧ください。



生活支援コーディネーター通信

金井地区

チームオレンジカフェ・らくせい

「チームオレンジ カフェ・らくせい」は町内にある医療法人社団楽聖会の協力を受けて、平成30年5月に活動を開始した、地域に身近な認知症カフェです。認知症の方や家族はもちろん、地域の方々が気軽に立ち寄り、安心して交流できる居場所となっています。カフェではお茶を飲みながらのおしゃべりや体操、歌声サロンなどを楽しんでいきます。温かい雰囲気の中で、仲間の輪が広がります。

日時

毎月第4水曜日

午前10時～正午

対象

誰でも参加できます

場所

新江俣会館

料金

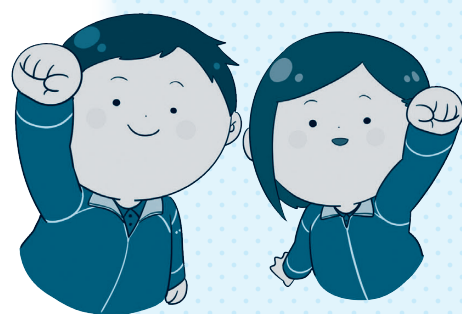
一〇〇円



滝山地区

災害に備えよう ～地域福祉推進会議が開催されました～

毎年、滝山地区社会福祉協議会主催で開催される地域福祉推進会議。今年のテーマは「災害と要支援者」。昨今、全国各地で自然災害が多発する中、滝山地区では、災害発生時、高齢者、障がい者の方への支援はどのように取り組むとよいか。会議では、山形県防災士会副会長、山形市職員を講師に招き、地域で安心して暮らすための防災や、個別避難計画制度についてお話いただきました。その後地区内福祉関係者からも情報提供が行われ、改めて防災について学び、これからの備えについて再考する機会となりました。



第六地区

ふれあいほっとするカフェ in ピタットハウス

木のぬくもり感じる温かい会場でゆったりと、お茶をしながら参加者のみなさんと認知症について学んだり、ピアノの演奏に合わせて歌を唄ったり、季節に合わせた企画など楽しいひとときを過ごしています。個室の相談スペースもあり、体のことからお家のことまで専門職に聞けるのも魅力の一つです。

日時
対象
場所

毎月第2木曜日 午後3時～午後4時
誰でも参加できます

株式会社日成不動産ピタットハウス山形店の
コミュニティスペース



山形市生活お役立ちガイドブックが便利にインターネットで検索できるようになりました。

山形市
生活お役立ちガイドブックナビ
べんりだず



簡単に まとめて

以下の情報を検索できます。

- 家事支援
- 外出支援
- 食材・弁当の配達等
- 日用品の配達
- 見守り・安否確認
- 雪かきに役立つ情報
- お出かけの場
- 地域支え合い活動
- ボランティア活動 等

日常生活の中でサポートしてもらいたいと感じた時に役立つ情報を掲載しています。
ぜひお気軽にご利用ください。

山形市 べんりだず

検索

<https://ayamu.casio.jp/yamagata>



山形市社会福祉協議会

山形市第1層・第2層生活支援コーディネーター ☎ 023-645-8061 FAX 023-645-9236

山形市長寿支援課 ☎ 023-641-1212 FAX 023-624-8398

検索の
イメージは
裏面へ



山形市生活お役立ちガイドブックナビ
べんりだず

山形市生活お役立ちガイドブックがインターネットで検索できるようになりました！
生活に役立つ情報を随時更新中！
日常生活の中でサポートしてもらいたいと感じたときに是非活用ください。
冊子版は、お近くの公民館やコミュニティセンター等で閲覧できます。

成年後見制度をどう存じますか？

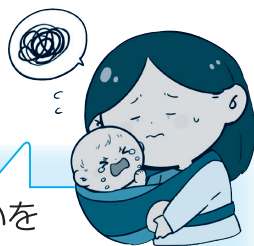
成年後見制度は、認知症、知的障がい、精神障がいなどで、判断能力が十分でない方を対象に、本人の権利を守る援助者（成年後見人等）を選ぶことで、本人を法的に支援する制度です。福祉、医療、介護サービス等の各種手続きや契約行為、財産の管理や日常的な金銭の管理などについて、本人の意思をできるだけ尊重し、生活を送るうえで一方的に不利益が生じないように、権利や財産を守ります。



近隣に高齢者がひとりで暮らしています

認知症が進み財産管理ができなくなっているようです。見知らぬ人が出入りしている様子なので心配です。

あなたの周りに
こんな人はいませんか？



障がいを
持つ方のために…

障がいのある子と暮らしていますが、私が身の回りの世話をすることができなくなったときのことが心配で…。



将来の不安に
備えるために…

子どもがいないし、頼れる親族もいません。将来、認知症になってしまった時のことを考えると不安で…。

成年後見制度を使うには
どうすればいいの？

相談

地域の相談窓口（成年後見センター・地域包括支援センター！成年後見制度に関わっている弁護士・司法書士の団体など）で相談します。

家庭裁判所へ申し立て

診断書と必要な書類、手数料などを用意します。ご本人の状況や状態を確認されることがあります。申し立ては、本人を含め身近な親族等に限られます。

成年後見人などの決定

成年後見人などは、本人の支援にふさわしい人を、家庭裁判所が選びます。

成年後見制度の開始

制度の利用が始まると、成年後見人に対して報酬が発生します。金額は家庭裁判所が決めます。

どんな人が
成年後見人などになるの？

○親族

身近な頼れる人

○市民後見人

専門的な研修を受けた地域の人

○専門職

福祉や法律の専門家
（弁護士・司法書士・社会福祉士など）

○福祉関係の法人

成年後見制度は、自分ひとりではよく分からない、そんなときでも安心してくらせるようにお手伝いする制度です。制度について聞きたいことなどありましたら、山形市成年後見センターにお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせはこちら

山形市成年後見センター

TEL 023-674-0680

FAX 023-645-9073



ボランティアセンター

伝言板

お問合せはこちら

TEL 023-645-9233 FAX 023-645-9236
メール voravora@yamagatashishakyo.or.jp
受付時間 平日午前9時～午後5時

参加者募集！

災害ボランティア
入門講座

山形市で災害が発生した時に、迅速なボランティア活動ができるよう研修会を開催します。

日時

令和8年1月26日(月)

午前9時30分～午前11時30分

会場

山形市総合福祉センター3階
会議研修室1

内容

災害ボランティアについて、
ワークショップ など

募集人数

先着30名

申込方法

下記二次元コードより↓

申込締め切り

定員になり次第



特技ボランティア養成講座

バルーンアート講座

バルーンアートの技術を身につけてボランティア活動に参加してみませんか？バルーンの膨らませ方などの基本から簡単な作品作りまで学べる講座です。初めてバルーンに触る方も大歓迎です。

日時

令和8年2月6日・13日・20日(金)

全3回

午前9時30分～午前11時30分

会場

山形市総合福祉センター3階
会議研修室2

内容

バルーンアートの基本と作品づくり

募集人数

先着20名

申込方法

下記二次元コードより↓

申込締め切り

定員になり次第

参加費

1,000円(道具代)



やさしいきもちを

ありがとう 寄附者紹介

みなさんからのご厚志に対して、心より厚く御礼申し上げます。ご寄附につきまして、令和7年9月1日から令和7年11月30日までの分を掲載いたします。(敬称略・順不同)

山形市社会福祉基金

- ・(有)ハーバーコーポレーション
- ・亞呉屋 山形本店
- ・霞城ハーモ二力愛好会
- ・生長の家 山形県教化部

山形市善意銀行

●現金預託

- ・阿部節子
- ・匿名(2名)

●物資・労力

- ・西下条町内会婦人部
- ・佐藤恒太郎
- ・斉藤あけみ
- ・(株)セブンイレブン・ジャパン
- ・二戸淳子
- ・(株)萬屋薬局
- ・伊藤幸子
- ・匿名(11名)

しゃきょうだより

市民の皆様から

いただいた声を、
ひとつひとつ大切に。

1月

／ たくさんの感想をいただきました！
その一部をご紹介します！ ／

● 私も自分の住んでいる地域の活動を知りたくなりました。チャンスがあれば参加してみたいです。(60代)

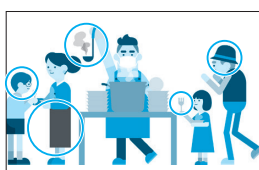
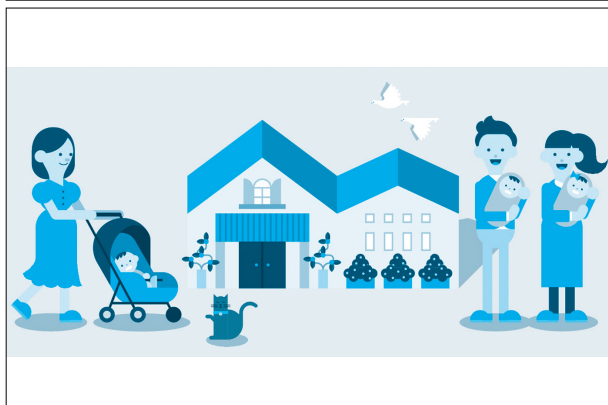
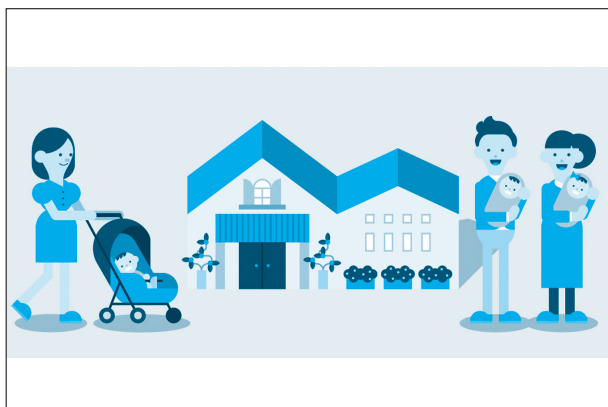
● 社会の一員として、支え合いは大切なことだと思います。(70代)

● 赤い羽根共同募金の歴史等を知ることができ、そんな昔から続いていることに驚きました。(60代)

● 地域で活動している方々がたくさんいるということがわかりました。(20代)

ちがうところはどこ？

上と下の絵で5コのちがうところをさがしてね！



ちがうところはどこ？

10月号(vol.186)答え

- ①男の子のメガネ
- ②女性のスカートの色
- ③おたまの湯気、④男性の帽子
- ⑤女の子の持つフォークの大きさ

クイズに答えて Present プレゼント！

山形市
総合福祉センター 1階
軽食喫茶
「ふれ愛」お食事券
抽選で15名様

クイズ：判断能力が衰えた際、本人が変わって
本人の思いを大切にしながら支援し
てくれる制度は？

〇〇〇〇〇制度

●応募方法／クイズの答えと必要事項を記入し、
ハガキまたはメールでご応募ください。
当選は発送をもってかえさせていただきます。

●宛先／〒990-0832 山形市城西町二丁目2番22号
社会福祉法人
山形市社会福祉協議会あて



応募は
こちらから→

●メールアドレス

voravora@yamagatashishakyo.or.jp

●締切／令和8年1月31日(土) (当日消印有効)

- ①クイズの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名
- ⑤年齢 ⑥電話番号
- ⑦「しゃきょうだより」の感想

10月号(Vol.186)クイズの答え
『支える』



社協(しゃきょう)は社会福祉協議会の略称です。この広報紙は赤い羽根共同募金の
配分金で年4回、山形市社協から福祉情報をお届けしています。次回は4月号です。